

各支部長・専門部長 様

千葉県教職員組合 中央執行委員長 渡邊 郁哉

## 県教委に教育予算拡充を求める署名を提出！

千教組は、12月21日県本庁において、署名の提出を行いました。千教組組合員で集めた40,227筆の署名を千葉県教育委員会 富塚昌子教育長に手渡しました。



冒頭、渡邊委員長から富塚教育長に「私たち教職員の使命は、『新しい千葉の時代を切り開く』ことができる人材を育てることです。千葉県の子どもたちが、『千葉で学んでよかった』という実感を持ち、将来の日本、また千葉県を思い活躍できる人材になるよう、日々の職務に努めていく。現場教職員の声に耳を傾け、千葉の子どもたちのために、よりよい教育環境や教育制度構築にご尽力いただきたい。」と伝えました。

要求書提出とともに、以下のことについて、学校現場のようすを含めて伝えました。

- ①学級編制基準の改善、学校教職員定数改善、学級数による増置教員の配置基準緩和
- ②小学校専科教員の全校配置
- ③少数職種へのサポートも含めたスクールサポートスタッフの全校配置
- ④産休及び育休に係る代替教職員の完全配置
- ⑤教職員賃金水準の改善
- ⑥教育相談のためのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員
- ⑦GIGAスクール構想で整備された設備や危機に関わる予算の継続確保
- ⑧学校の安全・防犯対策や定期的な専門家による点検の実施

富塚教育長から、「教職員の確保は県としても最重要課題としている。予算化しても人材確保が困難な場合もあり、人材確保にむけて大学等との連携も進めている。皆さんの声をしっかりと受け止めて、今後も政策をすすめていくとともに、今後ともぜひ皆さんの声を届けてほしい。」と回答をいただきました。

署名行動は、有効なとりくみです。活動を通して、組合員同士が教育課題について共有し合えます。数の力で相手方に私たちの思いを伝えることができます。厳しい状況の中でも、継続してとりくんだことで、実現してきたことがたくさんあります。活動の意義を組合員が理解し合い、みんなで協力し合って、これからもとりくんでいきましょう！